

## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 1 農業内外からの新規就農と定着促進を図ります

### ○新規就農者の確保

#### 【取組】

- ① JA等が実施する新規就農者の受入や育成等を支援
- ② 13普及拠点及び（公財）えひめ農林漁業振興機構に就農相談窓口を設置
- ③ 都市圏の若手女性に対し「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」メンバー等がツアーや相談会で就農を積極的に誘導

#### 【成果】

- ①
  - ・新規就農者数：182人〔R4：202人、R3：184人〕
  - ・県内11JA、3農業公社において103名の研修生受入体制を整備
  - ・研修生累計248名、うち180名が就農（H29～R5の合計）
  - ・新規就農者に対して、JAリースによる機械・施設整備を支援：5JAでハウスなど計19件整備
- ② 就農相談窓口における相談件数
  - ・普及拠点：延べ380件
  - ・（公財）えひめ農林漁業振興機構：延べ215件
- ③ 就農を希望する女性への支援
  - ・農業体験ツアー：2回（参加者：12名）
  - ・農業法人訪問ツアー：1回（参加者：10名）
  - ・相談会：4回（相談数：延べ20件）

#### 【関係事業】

- ・担い手総合支援事業費：78,221千円
- ・青年農業者等確保育成事業費：10,591千円
- ・えひめ農業女子確保支援事業費：5,645千円
- ・新規就農者緊急支援事業費：10,425千円
- ・南予儲かる農業人材育成事業費：2,614千円



県外での就農相談会開催



農業体験ツアーで参加者との意見交換

### ○えひめ農業のイメージアップ

#### 【取組】

- ① 魅力的な農林水産業の経営やPR等に取り組む人を「えひめ愛顔の農林水産人」として登録・紹介
- ② 「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」による、SNSを活用した農業の魅力発信を支援
- ③ 「えひめ農林水産アンバサダー」及び「えひめ農林水産レポーター」の新設

#### 【成果】

- ① 「えひめ愛顔の農林水産人」登録数※：245組、281名  
(第10弾として20組、22名を追加登録)
- ② Webサイト・SNSで「えひめ愛顔の農林水産人」及び「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」を紹介
  - ・「さくらひめ」Facebookフォロワー数※：571名  
→この他、InstagramとTwitterでも情報発信
  - ・「えひめ農林水産まるかじり」Instagramフォロワー数※：189名  
→この他、Facebookでも情報発信 ※ R6年3月末時点

#### 【関係事業】

- ・えひめ農林水産業魅力発信事業費：13,954千円
- ・えひめ農業女子確保支援事業費：5,645千円



農林水産人の冊子



農業者の魅力をSNSで発信

## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 1 農業内外からの新規就農と定着促進を図ります

### ○研修制度の充実

#### 【取組】

- ① JAや農業大学校、農業指導士等の就農研修機関に加え、地域の優れた農業者就農研修体制を研修機関として県が認定
- ② 13普及拠点で農業基礎研修や専門技術研修、経営向上講座等の研修を実施
- ③ 農業大学校において、社会人教育の強化に向け農業者キャリアアップ講座を実施

#### 【成果】

- ① 令和5年度県認定研修施設：9件（累計）
- ② 普及拠点での研修数：128回（参加者：延べ1,251名）
- ③ 農業者キャリアアップ講座受講生
  - ・農業DX公開講座：57名（R5年度より開始）
  - ・農業担い手育成塾：19名
  - ・農業革新挑戦塾：10名
  - ・農業よろう塾：12名

#### 【関係事業】

- ・青年農業者等確保育成事業費：10,591千円
- ・農業大学校教育運営推進費：34,077千円
- ・ひめカレ高度農業人材育成強化事業費：5,628千円



農業よろう塾での施設野菜栽培研修



就農を考えている受講生に土壌分析方法説明

### ○就農受入体制の充実

#### 1 JAや市町等と連携し受入体制を強化

##### 【取組】

- ・JA等が実施する新規就農者の受入や育成等を支援

##### 【成果】

- ・11JA及び3農業公社で、103名の研修生受入体制を整備
- ・研修生累計248名、うち180名が就農（H29～R5）
- ・新規就農者に対し、JAリースによる機械・施設の整備を支援（5JAでハウスなど計19件整備）

##### 【関係事業】

- ・担い手総合支援事業費：78,221千円

#### 2 新規就農者育成総合対策を活用し就農支援

##### 【取組】

- ・国の新規就農者育成総合対策（研修を後押しする就農準備資金、就農直後の経営を支援する経営開始資金）を活用し就農を支援

##### 【成果】

- ・R5年度 準備型対象者：52名、経営開始型対象者：308名
- ・R5年度 新規就農者（182名）のうち、経営開始資金の利用者：43名

##### 【関係事業】

- ・新規就農総合支援事業費：577,757千円

#### 3 物価高騰に対する新規就農者への支援

##### 【取組】

- ・資材などの価格高騰相当分の一部に対して緊急的に支援

##### 【成果】

- ・経営力の向上や面積拡大に取り組む認定新規就農者：132名

##### 【関係事業】

- ・新規就農者緊急支援事業費：10,425千円



研修施設の体制整備



就農に向けた実践的な研修を支援



## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 2 地域をリードする女性農業者を確保・育成します

### ○女性参画の推進

【取組】

- ・方針決定過程への女性参画の推進に向けた推進会議等の開催
- ・女性が活躍できる環境づくりと意識改革

【成果】

- ・推進会議1回、地区連絡会議各1回(5地区)開催
- 〔他団体の活動内容を知り、良い刺激になるとともに、性別を問わず活躍できる環境づくりが大切、との前向きな感想が多数〕

【関係事業】・農山漁村男女共同参画強化事業費：1,233千円



女性リーダー研修会

### ○農業女子プロジェクトの推進

【取組】

- ① 「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」の活動強化
- ② 都市圏の若手女性に対し「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」メンバー等がツアーや相談会で就農を積極的に誘導

【成果】

- ①
  - ・令和5年度メンバー数：145名(R4年度比：11名増加)
  - ・(株)松山三越のお中元・お歳暮として、ブルーベリーアイスなどを販売：中元6件、歳暮6件
  - ・各地域のグループ活動：8組織  
(内容：商品開発・販売促進・労働環境改善等)
  - ・県内さくらひめ交流会の開催：1回(参加者：20名)
  - ・先進地事例研修会(リーダー育成、流通研修)の開催  
：1回(参加者：5名)
- ②
  - ・さくらひめメンバーによる農業体験ツアー：2回(参加者：12名)
  - ・農業法人訪問ツアー：1回(参加者：10名)
  - ・就農相談会：4回(相談数：延べ20件)

【関係事業】・えひめ農業女子確保支援事業費：5,645千円



さくらひめメンバーによる農業体験指導



先進地事例研修

## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 3 次世代の担い手への円滑な経営継承を支援します

### ○経営継承支援

#### 1 えひめ農業経営サポートセンターによる支援

- ・多様な経営課題に関する相談に対応するため、えひめ農業経営サポートセンター(公益財団法人えひめ農林漁業振興機構)が行う専門家派遣を支援し、農業者等への指導・助言等を推進

【成果】

- ・専門家派遣による助言・指導対象者：76経営体(派遣件数：77件)  
(R4：85経営体(同：88件)、R3：100経営体(同：109件))
- ・農業経営セミナーの開催：1回[R4：3回、R3：7回]

【関係事業】・農業経営総合支援事業費：21,127千円

#### 2 法人化の支援

【取組】

- ・将来の経営を担う新規就農者等の確保・育成に取り組む、農業経営体の法人化を支援

【成果】

- ・経営体の法人化：3件[R4：3件、R3：5件]

【関係事業】・農業経営総合支援事業費：21,127千円



農業経営セミナー



経営相談の様子

## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 4 えひめ農業を支える人材を育成する農業教育の充実を図ります

### ○えひめ農業未来カレッジ（県立農業大学校）での人材育成

#### 【取組】

- ・最先端技術教育の拡充
- ・社会人教育の強化

#### 【成果】

- ・R5入学生
  - 〔総合農学科：49名（定員55名）
  - 〔アグリビジネス科：3名（定員5名）
- ・R5卒業生
  - 〔総合農学科：35名（就農率37%）
  - 〔アグリビジネス科：3名（就農率100%）
- ・農業DX公開講座を開催（受講者57名）
- ・社会人向けの研修・講座を農業担い手育成塾等の講座に再編して実施

#### 【関係事業】

- ・ひめカレ高度農業人材育成強化事業費：5,628千円
- ・農業大学校運営費：30,701千円
- ・農業大学校教育運営推進費：34,077千円
- ・農業大学校教育施設整備事業費：1,929千円



就農を目指し農業機械技術習得に励む農大生



畜産分校で酪農の最新管理技術を学ぶ農大生



農業担い手塾でスマート農業や農業DXの動向などを習得



愛媛県CDO補佐官による「DX時代の生き方」の講義



高校生がひまわりの出荷調整を体験

## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 5 えひめ農林水産業をわかりやすくデータベース化し、就業・移住につながる情報を発信します

### ○農林水産まるかじり就業支援サイトの運用

#### 【取組】

- ・就業に関するワンストップWebサイト「愛媛で就業！農林水産まるかじり就業支援サイト」を運用

#### 【成果】

- ・R5年度2月リニューアルオープン
- ・Webサイトを通じての就農相談の件数※：3件 ※R6年3月時点
- ・農業者向けメールマガジンの開設
- ・新規Instagram・Facebookの開設

#### 【関係事業】

- ・えひめ農林水産業魅力発信事業費：13,954千円



愛媛で就業！  
農林水産まるかじり  
就業支援サイト



## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

### 施策の展開方向 ② 多様な担い手の経営を支援します

#### 具体的な推進事項 1 農業に力強く取り組む認定農業者を支援します

#### ○認定支援

##### 【取組】

- ・市町をまたぐ認定農業者候補に対する認定の実施
- ・普及組織や市町、JA等と連携し、認定農業者への認定に必要な経営改善計画の作成を支援
- ・地域の模範的な農業者を農業指導士として認定

##### 【成果】

- ・令和4年度認定農業者数：4,314経営体  
(R4年度比：124件減)  
うち県認定数：69経営体  
※認定農業者数は当該年度の翌年度12月頃判明予定
- ・令和5年度県認定農業者組織会員数：1,997名
- ・令和5年度農業指導士新規認定：5名  
(県下の農業指導士※：60名) ※ R5年度末時点

##### 【関係事業】

- ・青年農業者等確保育成事業費：10,591千円



認定農業者協議会で事例研修会を実施



農業指導士認定式

#### ○経営安定に向けた支援と補助事業の有効活用促進

##### 【取組】

- ① えひめ農業経営サポートセンターにおける相談体制の整備や専門家派遣による指導を促進
- ② 農業大学校の農業革新挑戦塾において経営の高度化を指導
- ③ 経営発展に必要な機械・施設の導入を支援

##### 【成果】

- ① えひめ農業経営サポートセンターにおける相談件数（専門家派遣延べ人数） R5：76件（77名）  
〔R4：85件（88名）、R3：100件（109名）〕
- ② 農業革新挑戦塾における受講数：10経営体
- ③ 認定農業者等による機械・施設の整備：17市町で56経営体  
主な機械・施設〔ハウス・トラクター、田植機、コンバイン、乗用管理機 等〕

##### 【関係事業】

- ・農業経営総合支援事業費：21,127千円
- ・農業大学校教育運営推進費：34,077千円
- ・担い手総合支援事業費：78,221千円



経営改善計画を作成（農業革新挑戦塾）

# 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ② 多様な担い手の経営を支援します

具体的な推進事項 2 価格安定対策や農業保険の普及啓発などの経営安定対策を推進します

## ○経営所得安定対策の推進

### 1 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

〔諸外国との生産条件の格差による不利がある畑作物を生産する農業者に対して、経営安定のための交付金を国が直接交付するもの〕

#### 【取組】

- ・R4年産の県内支払件数は260件で計9.1億円となっており、R5年度も引き続き、各種説明会等の機会を通じて、生産者やJA関係者等に情報提供を行い、加入を促進

※当該年の支払実績は翌年10月頃判明

#### 【成果】

- ・畑作物を栽培する県内生産者の経営安定を促進

【関係事業】・経営所得安定対策等（国事業）

### 2 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）

〔当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、国がその差額の9割を補填するもの〕

#### 【取組】

- ・R4年産の県内支払件数は242件で計51百万円となっており、R5年度も引き続き、各種説明会等の機会を通じて、生産者やJA関係者等に情報提供を行い、加入を促進

※当該年の支払実績は翌年10月頃判明

#### 【成果】

- ・米・畑作物を栽培する県内生産者の経営安定を促進

【関係事業】・経営所得安定対策等（国事業）

### 3 経営所得安定対策等推進事業

〔農業再生協議会が行う経営所得安定対策等の運営に国が必要な経費を助成するもの〕

#### 【取組】

- ・R4年産の県内経営所得安定対策交付申請件数は3,789件となっており、R5年度も引き続き、当対策の普及推進活動を実施

※当該年の支払実績は翌年10月頃判明

#### 【成果】

- ・畑作物等を栽培する県内生産者の経営安定に寄与

【関係事業】

- ・経営所得安定対策等推進事業費：72,860千円

### 4 野菜の価格安定制度

#### 【取組】

- ・主要野菜の価格低落時の価格を保証

#### 【成果】

- ・対象野菜19品目のうち、12品目（きゅうり、さといも等）で補填金を交付見込み

【関係事業】

- ・野菜生産出荷安定資金造成事業費：21,165千円

## ○原油価格・物価高騰に対する施設園芸農家の負担軽減

### 【取組】

- ・国の施設園芸セーフティネット構築事業に加入している農家等に対して、燃料に係る経費の一部を緊急的に支援

### 【成果】

- ・19件104戸の農家に補助金を交付

### 【関係事業】

- ・施設園芸燃料高騰対策緊急支援事業費

〔2,262千円（R5年4月補正）  
2,327千円（R4年12月補正）〕

## ○農業保険の普及啓発

### 【取組】

- ・農業関係の各種会議や広報紙、県政広報番組等で農業保険（農業共済制度及び農業経営収入保険制度）を周知

- ・県が行う関連補助事業において、農業保険の加入要件化や加入の促しを実施

### 【成果】

- ・収入保険の加入率：41.9%

※対象：R5年に青色申告を行う農業者

〔R4：38.9%、R3：35.9%〕

- ・園芸施設共済の加入率：83.5%

〔R4：71.5%、R3：60.7%〕

## ○畜産物の価格安定対策

### 【取組】

- ・肉用子牛や肉用牛、肉豚の価格下落対策として、生産者が積み立てる資金の一部に県が助成することで生産者の負担を軽減

### 【成果】

- ・積立頭数

〔肉用子牛 2,669頭（R4：3,055頭）

肉用牛 3,999頭（R4：5,057頭）

肉豚 350,880頭（R4：359,178頭）

### 【関係事業】

- ・肉畜価格安定対策事業



愛媛CATVでの広報（園芸施設共済）



## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ② 多様な担い手の経営を支援します

具体的な推進事項 3 農業現場を支える多様な人材や主体の活躍を支援します

### ○農業法人の設立支援

#### 【取組】

- ・多様な経営課題に関する相談に対応するため、えひめ農業経営サポートセンター（公益財団法人えひめ農林漁業振興機構）が行う専門家派遣を支援し、農業者等への指導・助言等を推進

#### 【成果】

- ・専門家派遣による助言・指導  
→相談件数（専門家派遣延べ人数）：76件（77名）  
〔R4：85件（88名）、R3：100件（109名）〕
- ・農業経営セミナーの開催：1回〔R4：3回、R3：7回〕
- ・経営体の法人化：3件〔R4：3件、R3：5件〕

【関係事業】・農業経営総合支援事業費：21,127千円



専門家派遣の様子

## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ② 多様な担い手の経営を支援します

具体的な推進事項 4 中小・家族経営など多様な経営体を支援します

### ○中小・家族経営など多様な経営体に対する総合的な支援

#### 【取組】

- ・各地方局・支局の地域農業育成室や農業指導班を中心に、普及指導計画において、それぞれの地域の現状を踏まえつつ、特に力を入れて取り組む地域の基盤づくりを目標とした地域戦略ビジョンを策定し、新規就農や集落営農・法人化、個別経営体の技術・経営等を支援・指導

#### 【成果】

- ・普及指導計画のうち、地域戦略ビジョンの策定数：34

#### 【関係事業】

- ・普及活動促進費：32,147千円



就農初期農業者研修会

### ○魅力ある多様な品目で就農することができる産地づくり

#### 【取組】

- ①地域で芽生えた品目（オリーブ、醸造用ぶどう、甘長とうがらし等）の低コスト技術の確立
- ②自ら生産販売に取り組む事業者のグループ化
- ③地元イベントや観光拠点での販売、県内外での販売PR活動
- ④SNS等での商品、生産者情報の発信

#### 【成果】

- ①単肥配合、廃液利用、廃材利用ハウス建設技術といった低コスト技術のマニュアル化
- ②生産加工事業者グループの組織化（参加事業者数：21人増）
- ③
  - ・「せとうちみなとマルシェ」に共同ブースを設置：13回
  - ・「タオル美術館」等の観光拠点に常設コーナーを設置：3カ所
  - ・東京（丸の内）、松山市で食材フェアを開催：計31日間
- ④しまなみ食材情報ポータルサイトの開設  
(アクセス数※：12,085回) ※R5年度末時点

#### 【関係事業】

- ・しまなみ地域の魅力ある農業産地化事業費 1,850千円



食材情報ポータルサイト



タオル美術館の常設コーナー

## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ③ 多様な人材の活躍を促進します

具体的な推進事項 1 外国人材やみかんアルバイトなど、多様な人材の活躍を支援します

### ○外国人材受入や労働力確保に向けた支援

#### 1 技能実習・特定技能制度の理解の深化

【取組】

- ・JAや農業者を対象とした外国人材受入に関する研修会を開催

【成果】

- ・研修会には、農業者など37名が参加

#### 2 スリランカ人材受入モデル確立

【取組】

- ① 既受入先・監理団体との協議
- ② スリランカ農業人材受入拡大研修会の開催
- ③ スリランカ農業人材受入連絡協議会の設立
- ④ スリランカ人材サポート体制の整備

【成果】

- ・スリランカ政府との覚書締結
- ① スリランカから2名の技能実習生、4名の特定技能の受入
- ② 研修会には、JAや農業者など22名が参加
- ③ 協議会にて、スリランカ農業人材に関する情報交換を実施
- ④ 県国際交流協会において相談活動、交流会を実施

#### 3 労働力確保に向けた取り組み

【取組】

- ・他産業に農業アルバイトや有償ボランティアへの参加を呼びかけ

【成果】

- ・収穫期に、JAにしうわ及びJAえひめ南管内において、延べ28,275人役の労働力を確保

【関係事業】

- ・スリランカ農業人材活用促進事業費：625千円



スリランカとの覚書締結



農繁期にアルバイトが大活躍



外国人材受入に関する研修会

## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ③ 多様な人材の活躍を促進します

具体的な推進事項 2 多種多様な農業支援サービスの活用を促進します

### ○集落営農法人等による農作業受託の推進

【取組】

- ・農地の受け皿となる集落営農法人等による農作業受託・農地集積の推進に必要な農業機械・施設の導入を支援

【成果】

- ・農業機械・施設の整備：3件  
(トラクター、汎用コンバイン等)

【関係事業】

- ・水田農業競争力強化支援事業：7,458千円



5年度導入機械の写真



## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ③ 多様な人材の活躍を促進します

具体的な推進事項 3 農福連携による取組を支援します

### ○農福連携の推進

#### 【取組】

- ① 農福連携普及推進会議を開催
- ② 障がい者理解促進研修会を開催
- ③ 農福連携交流セミナーを開催
- ④ 農作業体験活動の現地支援
- ⑤ 農業版ジョブコーチの育成研修会の開催
- ⑥ 農作業受注システムを開発

#### 【成果】

- ① 推進会議を2回開催し、取組みを共有（参加者：47人）
- ② 研修会を10回開催し、理解を深化（参加者：95人）
- ③ セミナーを6回開催し、交流を促進（参加者：117人）
- ④ 収穫作業などにおける現地支援：8回（対象者：75人）
- ⑤ 育成研修会でコーチを養成：10回（参加者：29人）
- ⑥ システムを開発して活用

#### 【関係事業】

- ・農福連携推進事業費：735千円
- ・農福連携デジタル化支援事業費：760千円



農福連携による  
土入れ作業の実施



農福連携による  
サトイモ収穫作業の実施

## 基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ③ 多様な人材の活躍を促進します

具体的な推進事項 4 農業の「働き方改革」を推進します

### ○家族経営協定の締結促進

#### 【取組】

- ・R5年度末の家族経営協定締結数は、1,189件となっており、引き続き、締結を推進

#### 【成果】

- ・仕事と生活のバランスに配慮した家族経営の実践を促進

#### 【関係事業】

- ・農山漁村男女共同参画強化事業費：1,233千円



家族経営協定調印式

### ○農作業安全に向けた取組の推進

農作業死亡事故の発生件数：5人〔R4：6人、R3：5人〕

#### 【取組】

- ① 各普及拠点で農作業安全講習会・啓発活動を実施
- ② 農業大学校において農業機械利用技能者を養成
- ③ 農作業安全に関する指導者向け研修会を開催

#### 【成果】

- ① 〔・農作業安全講習会の開催：22回（対象者：322名）  
〔・農作業安全啓発活動の実施：75回（対象者：1,482名）
- ② 農業機械利用技能者認定数：29名
- ③ 研修会の受講者数：21名

#### 【関係事業】

- ・農作業安全対策推進事業費：1,109千円



農作業安全講習会

## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ① えひめ農業の生産基盤整備を推進します

具体的な推進事項 1 多様な担い手の規模拡大・所得向上につながる生産基盤整備を推進します

### ○水田の大区画化等の推進

#### 【取組】

- 意欲ある担い手の経営規模拡大や所得向上を後押しするため、市町、JA、農地中間管理機構等の関係団体と連携し、担い手への農地集積・集約化や営農の省力化・生産コストの削減、高収益作物への転換等に向けた区画整理等を実施

#### 【成果】

- 経営体育成基盤整備事業：10地区〔R4：7地区、R3：9地区〕
- 農地中間管理機構関連農地整備事業：7地区〔R4：7地区、R3：6地区〕

#### 【関係事業】

- 担い手育成基盤整備事業費：1,367,342千円



区画整理後の水田

### ○樹園地の緩傾斜化・高機能化の推進

#### 【取組】

- 生産効率の悪い園地を緩傾斜化や農道、排水路等を総合的に整備することで災害に強く生産性の高い園地に再編する「再編整備・再編復旧」を実施

#### 【成果】

- 農地中間管理機構関連農地整備事業：7地区〔R4・R3ともに6地区〕
- 畑地帯総合整備事業：5地区〔R4：5地区、R3：4地区〕
- 基幹農道整備事業：1地区〔R4・R3ともに1地区〕
- 一般農道整備事業：1地区〔R4・R3ともに1地区〕
- 農業水利施設保全合理化作業：1地区〔R4・R3ともに1地区〕
- 農地耕作条件改善事業：8地区〔R4：9地区、R3：8地区〕
- 災害に強い園地整備手法確立事業：1地区〔R4：1地区〕

#### 【関係事業】

- 担い手育成基盤整備事業費：1,367,342千円
- 農地再編復旧整備事業費：601,994千円
- 農道整備事業費：605,477千円
- かんがい排水事業費：371,144千円
- 災害に強い園地整備手法確立事業費：9,300千円



【再編復旧】整備前



整備中



完成イメージ

### ○地域のニーズに応じた基盤整備の推進

#### 【取組】

- 中山間地域等の地域特性を生かした営農の確立や、近年、頻発化・激甚化する豪雨への対応など、地域の実情やニーズに応じた、区画整理、農業用排水路、農道等を整備

#### 【成果】

- 県営中山間地域総合整備事業：4地区〔R4・R3ともに4地区〕
- かんがい排水事業：1地区〔R4・R3ともに1地区〕
- 農地耕作条件改善事業：8地区〔R4：9地区、R3：8地区〕

#### 【関係事業】

- 農村総合整備事業費：334,345千円
- かんがい排水事業費：44,090千円
- 小規模農業基盤整備事業費：174,727千円



農業用排水路



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ① えひめ農業の生産基盤整備を推進します

具体的な推進事項 2 農業水利施設の長寿命化と機能強化を推進します

### ○農業水利施設の機能回復と強化

#### 【取組】

- ①ダムなどの水源から各農地まで安定的に農業用水を送るとともに、破損による二次被害を防止するため、既存水利施設の劣化状況に応じた効率的かつ効果的な長寿命化を実施
- ②豪雨時に農業地域の湛水被害を防止する排水機などの基幹的水利施設について保全計画に基づき、保全対策工事を実施し、施設の機能回復を実施
- ③水利施設の保全対策に併せて新たな機能を補強することで、施設の再構築を実施

#### 【成果】

- ①
  - ・かんがい排水事業：1地区  
〔R4：1地区〕
  - ・基幹水利施設ストックマネジメント事業：19地区  
〔R4：23地区、R3：25地区〕
- ②
  - ・農業水利施設保全合理化事業：2地区  
〔R4・R3ともに2地区〕
  - ・畑地帯総合整備事業：2地区  
〔R4：2地区、R3：3地区〕
- ③
  - ・農業水路等長寿命化・防災減災事業：5地区  
〔R4：6地区、R3：9地区〕
  - ・農地耕作条件改善事業：1地区  
〔R4：1地区、R3：2地区〕

#### 【関係事業】

- ・かんがい排水事業費：1,392,589千円



水利施設の機能回復

### ○施設の管理体制の強化

#### 【取組】

- ・農業者の高齢化・減少により、国営関連農業水利施設を適切に維持管理していくことが困難になりつつあるため、施設の管理体制の強化に向けた取組を推進

#### 【成果】

- ・管理協定締結数：1組織  
〔R4・R3とも2組織〕
- ・清掃活動、啓発活動回数：63回  
〔R4：42回、R3：37回〕

#### 【関係事業】

- ・国営造成施設等管理強化事業費：39,369千円



清掃活動の様子

## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ① えひめ農業の生産基盤整備を推進します

具体的な推進事項 3 地域計画（人・農地プラン）を活用し、農地中間管理機構などによる農地の利用集積を推進します

### ○農地中間管理機構による農地集積・集約化の推進支援

#### 【取組】

- ・公益財団法人えひめ農林漁業振興機構（農地中間管理機構）が行う、貸出希望農地や借受希望者の掘り起こし、出し手と受け手のマッチング等の取組を支援

#### 【成果】

- ・機構借入農用地：約81ha（累計約934.6ha）  
〔R4：約69.2ha、R3：約94.8ha〕
- ・機構転貸農用地：約99.4ha（累計約990.8ha）  
〔R4：約70.0 ha、R3：約104.6ha〕

#### 【関係事業】

- ・農地中間管理事業等推進費：47,792千円



農地中間管理事業を活用した果樹園地

### ○地域計画の推進

#### 【取組】

- ・目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画（人・農地プランの法定化）の策定に向け、農地活用効率化・農地中間管理事業推進班会議等において、地域での話し合いに取り組む市町に助言・指導

#### 【成果】

- ・地域計画の策定に向けた協議が行われた地域の割合  
R5：86/368地域（進捗率23%）

#### 【関係事業】

- ・農地集積推進事業費：417千円



農地活用効率化・農地中間管理事業推進班会議

### ○基盤整備と農地集積・集約化の一体的な推進

#### 【取組】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、14地区において農地の大区画化等の基盤整備と、農地集積・集約化を一体的に推進

#### 【成果】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業：14地区  
〔R4：13地区、R3：12地区〕

#### 【関係事業】

- ・担い手育成基盤整備事業費：1,367,342千円
- ・農地再編復旧整備事業費：601,994千円



樹園地の基盤整備（工事前）



工事中



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

### 施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 1 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します

#### ○儲かる果樹農業の確立

##### 【取組】

果樹農業の担い手のモデルとなる「未来型果樹園」を核とした、産地の強化を目的として、

- ① 西日本豪雨災害からの復旧・復興の支援
- ② 未来型果樹園づくりに向けた生産基盤強化のための機械・施設等の整備
- ③ 商品力の向上のための集出荷貯蔵施設の機能強化等を推進
- ④ 紅プリンセス等県オリジナル品種の生産支援

##### 【成果】

- ①
  - ・ 復旧園地における早期成園化のための土づくり
  - ・ 高品質果実生産に取り組むための防風・防鳥ネットの整備：1地区
- ② 高品質・高収量生産に必要なハウス、果樹棚、防風・防鳥ネット、かん水施設等の整備や、省力・低コスト化のための電動鋏、モノレール等の整備：11地区  
(松山市、八幡浜市など)
- ③ ユズの箱詰め機械の整備：1地区
- ④ 高品質・高収量のためのハウス、防風・防鳥ネット、かん水施設の整備：3地区

##### 【関係事業】

- ・ 未来型果樹産地強化支援事業費：85,757千円
- ・ 紅プリンセス生産販売支援事業：21,120千円



防風・防鳥ネットの整備



ハウスの整備



ユズ箱詰め機械の整備

#### ○作業の効率化に向けた園地の改良

##### 【取組】

機械化を可能とする園地の緩傾斜化など、生産性の高いモデル園地の整備を進め、再編整備を補完する手法として速やかな普及定着を図る。

##### 【成果】

- ・ 県内4か所において園地の緩傾斜化
  - 今治市菊間町
  - 松山市由良
  - 八幡浜市高野地
  - 宇和島市柿原
- ・ R4年度に小規模園地改良を行った優良なモデル園地において横展開を図るため、意識の醸成に向けた研修会を開催
  - ：4地区で参加者 約200人
    - 今治市菊間町
    - 松山市難波
    - 伊方町中浦
    - 宇和島市吉田町

##### 【関係事業】

- ・ 傾斜園地作業効率化モデル整備事業費：13,760千円



農家自主施工による緩傾斜化



傾斜緩和した園地での研修会

## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 1 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します

### ○県オリジナル品種「媛小春」の産地づくり

#### 【取組】

- ①栽培技術の向上による生産量拡大
- ②直販向け品目としての流通・販売支援

#### 【成果】

- ①
  - ・弱勢中間台木を用いた早期結実実証で接木後管理を継続中
  - ・鳥害対策として、防鳥ネットによる効果を確認
  - ・早期収穫、長期貯蔵試験による品質への影響を検証上記の取組みにより、R5生産量：25.5t〔R4：10t〕
- ②
  - ・「南予の媛小春」魅力アップ協議会設立：会員数20名
  - ・作成した共通ロゴやキャッチコピーにより、宇和島産業まつり、えひめ愛ある食の市（松山）等でPR

#### 【関係事業】

- ・「南予の媛小春」魅力アップ事業：908千円



魅力アップ協議会設立



産直市等でのPR

## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 2 水田フル活用の推進により、水田農業の持続的発展を目指します

### ○県オリジナル品種「ひめの凩」の導入推進

#### 【取組】

- ・県産米全体の競争力の底上げ、農家所得向上と本県水田農業の振興を図るため、ひめの凩の生産振興や、良食味米生産体制の構築、ブランディングを一体的に実施

#### 【成果】

- ・令和6年度認定栽培者：992名（1,011ha）  
〔令和5年度認定栽培者：556名（670ha）〕
- ・共同乾燥施設の整備：2JAで計3施設
- ・首都圏（埼玉県のイオン・レイクタウン）の消費者等を対象に試食販売会やキャンペーン等を実施

#### 【関係事業】

- ・ひめの凩ブランド力強化事業費：51,000千円



現地研修会等の様子

### ○省力化による持続可能な水田農業の推進

#### 【取組】

- ・大規模で安定した農業経営と水田農業の持続的発展を実現するため、水田農業の省力化に必要な収穫機械や共同利用施設等の導入を支援

#### 【成果】

- ・農業機械・施設の整備：8件（汎用コンバイン、トラクター等）

#### 【関係事業】

- ・水田農業競争力強化支援事業費：17,888千円



導入した機械



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 3 主要農作物の種子の安定供給に努めます

### ○主要農作物の種子の安定供給

#### 【取組】

- ・主要農作物の生産増進を図るため、優良品種の増殖普及と優良品種への更新を促進するとともに、これに必要な原原種ほ場、原種ほ場の設置、採種ほ場の指定、ほ場審査、その他採種管理に対する指導等の実施

#### 【成果】

- ・水稲採種ほ場 233ほ場で計6品種 計41ha  
〔あきたこまち、ひめの凜、ヒノヒカリ、しずく媛、松山三井、媛育71号〕
- ・麦採種ほ場 185ほ場で1品種 34ha (ハルヒメボシ)

【関係事業】・優良種子生産体制強化事業費：77千円



栽培講習会

## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 4 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組めます

### ○儲かる品目の生産拡大や高品質化等による収益性向上

#### 【取組】

- ・野菜等産地の規模拡大や高品質化等に必要な施設・機械等の導入を支援

#### 【成果】

- ・いちごハウスの暖房機のリース導入：1産地、1件（大洲市）
- ・さといもの省力化機械等の導入：4産地、5件  
（四国中央市、東温市、西予市、松前町）
- ・いちごの高設栽培施設、電照装置の導入：3産地、3件  
（今治市、松山市、東温市）
- ・ブロッコリーの省力化機械の導入：1産地、1件（愛南町）

#### 【関係事業】

- ・産地収益力強化支援事業：497千円
- ・野菜・花き等産地供給力強化支援事業費：14,425千円



いちご暖房機



さといも分離機



いちごの電照装置



いちご高設栽培施設



ブロッコリー移植機

## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 4 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組みます

### ○パクチー周年安定生産体制の確立支援

#### 【取組】

- ① 生産者や関係機関との対策会議(2回)を開催(7、3月)
- ② 情報収集活動として、岡山県で先進地事例調査を実施(12月)
- ③ 実証ほの設置(8ヶ所)により周年安定生産を検討
- ④ 中予産パクチーの主な出荷先である関西圏等でのPR活動

#### 【成果】

- ①
  - ・産地化への意識統一を行い、栽培講習会や現地巡回により新規栽培者5人を確保
  - ・栽培農家数：17戸〔R4年比：131%〕
- ②
  - ・先進地の「効率的な周年栽培技術」を情報共有し、生産者の栽培意欲を向上
  - ・栽培面積：130a〔R4年比：102%〕
- ③ 夏季の芯腐れ症に対するカルシウム剤散布の有効性を実証し、初夏～秋播き作型の標高別の栽培体系を確立
- ④
  - ・大阪市場の卸、仲卸業者を対象に、試食、パンフレット配布、アンケート調査を実施
  - ・都内企業の社員食堂で4メニューを提供し、中予産パクチーの認知度を向上

#### 【関係事業】

- ・パクチー周年安定生産体制確立事業費：1,666千円



カルシウム剤散布実証ほ



大阪市場でのPR活動



推進会議の開催状況



加工事業者との商談状況



青果PR販売

### ○県オリジナル品種「媛かぐや」の産地づくり

#### 【取組】

- ① 産地育成推進会議の開催(3回)
  - ・新規栽培農家の確保や安定生産技術の確立と普及
  - ・加工事業者等と連携した需要創出について協議
  - ・各関係機関での情報共有
- ② 栽培体系の構築
  - ・セル育苗技術の導入
  - ・安定生産を目的とした混植栽培の実証ほの設置
  - ・生育状況に応じた現地栽培検討会を開催
- ③ 需要創出
  - ・一次加工業者の掘り起こし、流通体制の構築
  - ・食品加工業者(3社)へのサンプル提供
  - ・先進加工事例調査、青果での試験販売による認知度向上

#### 【成果】

- ①
  - ・新規栽培農家を確保：3戸、4a
  - ・管内栽培農家：7戸、6a〔R4：4戸、2a〕
- ②
  - ・セル苗密植栽培の導入・規格の均一化
  - ・他品種との混植による、倒伏軽減効果を確認
- ③
  - ・加工事業者の開拓(1社)により、流通体系を構築
  - ・家庭消費には大きすぎるものの、食味については非常によい、との評価

#### 【関係事業】

- ・「媛かぐや」産地育成事業費：1,198千円



## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 5 新たな花きニーズの創出と収益性の向上に向けた花き産地づくりを支援します

### ○観賞用ユーカリ産地拡大の支援

#### 【取組】

- ① JA、市等の関係機関との生産対策協議会の開催（5月、3月）
- ② 挿し木及び育苗講習会：3回、計35人参加
- ③ 収量及び品質向上を目指した樹形づくりの実証（2か所）
- ④ 水田ほ場における排水性改善技術の実証（2か所）
- ⑤ 新規ユーカリ品種※の導入検討（2か所）  
※品種名：パルブラ、アップルボックス、ポボラス、グロブロス

#### 【成果】

- ① 技術実証内容や生産動向について意見交換
- ② 生産者の自家育苗技術の向上  
挿し木増殖困難→発根率10%（最大30%）
- ③ 従来より1本仕立てより2・4本仕立てで品質が向上  
来年度、収穫最盛期を迎えるため、調査を継続
- ④ 縦穴明けによる排水性改善効果が、2年目も継続
- ⑤ 4品種を候補として地域適応性を確認したうえで、市場評価、品質面からグロブロスを除く3品種に候補を選定し、調査継続を検討

【関係事業】・観賞用ユーカリ産地拡大事業費：1,601千円



縦穴による排水性改善



新規候補4品種

### ○さくらひめ切り花・鉢物の生産支援

#### 【取組】

- ① 実証ほの設置（7ヶ所）により夏季自家育苗について検討
- ② 生産者、市場、関係機関との検討会及び現地研修会（各2回）
- ③ 母の日に向けたフラワーアレンジメント体験会や、松山観光港でのPR展示を実施

#### 【成果】

- ① ・切り花：夏季自家育苗により、種苗コスト低減と高校卒業式需要に対応  
取組生産者：2人〔R4：0人〕  
・鉢物：夏季自家育苗（短日夜冷育苗）の有効性を確認  
生産量：19,800鉢〔R4：18,500鉢〕
- ② 市場動向や技術実証内容について意見交換を実施し、実証区において需要期出荷の対応ができたことを確認
- ③ 若い世代や消費者の「さくらひめ」に対する認知度が向

【関係事業】・さくらひめ産地強化事業費：1,089千円



夏季自家育苗の実証



現地研修会

### ○新たな花きニーズの創出

#### 【取組】

- ・県花き関連団体のイベントを、開催時期ごとに「えひめ花いっぱいプロジェクト」と銘打って開催
- ・開催イベントをまとめたPRチラシを作成し、マスメディアへ情報提供（県HPに掲載）
- ・写真を募集し、当選者へ花チケットをプレゼント（応募者：74人）

#### 【成果】

- ・インスタグラムでの若い世代をターゲットにした情報発信  
→フォロワー数：208人 ※令和5年度末時点
- ・花を活用したオブジェを設置し、県産花きをPR：2会場

【関係事業】・えひめ花いっぱいプロジェクト開催費：1,125千円



オブジェの設置

## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 6 魅力ある畜産ブランドの生産体制の強化に取り組みます

### ○生産基盤の強化

#### 【取組】

- 国補助事業や県単補助事業（畜産新技術等導入支援事業費）による施設整備や機械導入、畜産関連既存施設の補改修を推進

#### 【成果】

- 畜舎の施設整備：1件〔R4：1件、R3：0件〕
- 機械等の導入：18件〔R4：21件、R3：46件〕
- 既存施設の補改修：16件〔R4：24件、R3：23件〕

#### 【関係事業】

- 畜産経営技術指導事業費：4,060千円
- 畜産新技術等導入支援事業費：20,511千円



分娩豚舎の補改修

### ○生産体制の強化

#### 【取組】

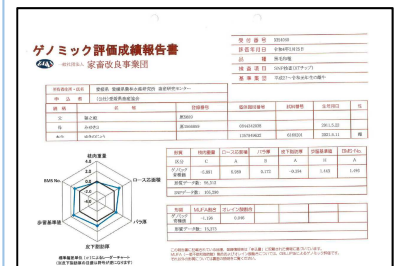
- 生乳生産期間の延長による乳用牛の生涯乳量向上に向け、公共牧場を活用した子牛育成期の管理強化やICT機器を活用した繁殖管理を推進
- 愛媛あかね和牛の生産強化に向けて、遺伝子検査等を活用し、子牛の高品質生産体制の構築を推進

#### 【成果】

- 公共牧場等で強化育成した頭数：316頭〔R4：383頭〕
- 愛媛あかね和牛生産頭数：179頭（目標頭数：240頭）

#### 【関係事業】

- 乳用牛生涯乳量向上事業費：7,396千円
- 愛媛あかね和牛産地化支援事業：10,846千円



子牛の高品質化に向けたゲノミック評価

### ○畜産経営の安定化

#### 【取組】

- 経営体質の転換に向け、新たな自給飼料の生産拡大や耕畜連携等への取組みを支援（飼料生産資材、機械リース料等）
- 飼料コスト低減や生産性向上などに取組む畜産農家を支援
- 牛肉消費低迷に伴う枝肉価格の低下や長引く飼料・資材価格の高騰により厳しい経営環境にある肥育牛生産者を緊急的に支援

#### 【成果】

- 自給飼料増産への取組支援件数：24件〔R4：82件〕  
（支援項目：牧草種子、ラップ、ネット、収穫作業委託料等）
- 支援農家数：延べ429戸〔R4：延べ410戸〕
- 支援農家数：56戸

#### 【関係事業】

- 酪農・畜産飼料価格高騰対策緊急支援事業費：499,959千円
- 肥育牛生産者緊急支援事業：9,456千円



自給飼料生産の取組支援



## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

### ○サトイモ大規模省力生産技術の開発

#### 【取組】

- ・大規模・広域集団栽培技術、無人選別技術、未利用資源の有効活用技術など、生産から出荷・販売に係る一貫的な技術を開発

#### 【成果】

- ・ハイクリアランス仕様の乗用農機による省力化体系を確立し、土入れ作業が従来機に比べて作業時間を1/3に削減
- ・芋を腐らせる土壌病害の効果的な防除法（種子消毒、土壌混和处理等）を開発し、種子消毒等の処理による塊茎腐敗軽減効果を確認
- ・ドローン利用による新たな防除体系の確立し、薬剤3剤（疫病、ハスモンヨトウ）の適用拡大に貢献

#### 【関係事業】

- ・サトイモ大規模省力生産技術開発事業費：8,999千円



乗用農機を利用した  
土入れ作業

### ○キウイフルーツ花粉安定生産技術の高度化

#### 【取組】

- ・キウイフルーツかいよう病の世界的な流行による、花粉の輸入制限や価格高騰を受け、不安定な輸入花粉に頼らず、自給する取組を支援するため、大規模に生産する技術を開発（前事業：キウイフルーツ花粉安定生産技術開発試験）
- ・令和3年度までに花粉生産から精製する体制が国内で初めて整ったことから、前事業を昇華し、収穫作業の分散化や花粉収量増大に向けた試験を実施

#### 【成果】

- ・松野町で3戸、18.6aで栽培を開始し、花粉精製工場を整備
- ・令和4年に0.2kg収穫し、令和5年に受粉試験を実施
- ・令和5年に1.9kg収穫し、令和6年に初販売の予定
- ・Tバー仕立てによる簡易雨よけ施設により10.4a規模拡大
- ・樹体付近の局所加温により収穫時期を前進

#### 【関係事業】

- ・キウイフルーツ花粉生産技術高度化試験研究費：1,200千円



国内初のサイクロン式  
花粉精製機



局所加温により収穫  
時期を前進

### ○かんきつせん定技術習得システムの開発

#### 【取組】

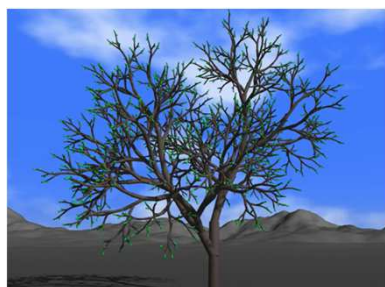
- ・生産者が減少していく中、新規就農者が一人前のせん定技術を習得するため、飛躍的に進歩しているデジタル技術を活用し、せん定技術を習得できる「かんきつせん定シミュレータ」を開発

#### 【成果】

- ・ドローンを用いて大型樹と小型樹の3Dモデル作成
- ・みかん樹木を生成する手法を検討
- ・VRゴーグルにより試作したシミュレータの動作確認

#### 【関係事業】

- ・かんきつせん定技術習得システム開発費：2,100千円



樹木生成シミュレーション

## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

### ○未来型農林水産研究プロジェクトの推進

#### 【取組】

- ・今後の地域間競争に打ち勝ち、持続的に地域を発展させるために、各地域の将来目標を実現する研究テーマを掲げ、農林水産研究所が組織をあげて取り組む当該プロジェクトを実施することにより、目標設定解決型の試験研究を展開し、農林水産業の更なる活性化を推進する。

#### 【成果】

- ① ブレイクスルーでつかみ取る!! サトイモ・スーパー品種の開発
  - ・重イオンビームの照射強度を最適化し、獲得効率(個数)を倍増(年間224個体から450個体へ)
  - ・照射後の個体から、多収等の優良16系統を選抜
- ② 未来型かんきつオリジナル品種の開発
  - ・南柑20号について、プロトプラスト精製方法を確立
  - ・未成熟胚からのカルス誘導条件と培養条件を確立
- ③ 全国初! スマホにお知らせ「できるサトイモ栽培」支援システムの開発
  - ・サトイモに水分ストレスを与えたときのサトイモの反応を、各種センサー及びカメラ等によって確認
  - ・蒸散量の日変化、時期毎の変化及び水分ストレス後の変化を測定

#### 【関係事業】

- ・未来型農林水産研究プロジェクト推進事業費：6,080千円



変異処理した親株から再生



未成熟胚から誘導された南柑20号のカルス

### ○水稻品種育成加速化技術の開発

#### 【取組】

- ・主要品種の「あきたこまち」の品質が極めて悪く、生産者からは有望品種への切り替え要望が強いことから、品質・食味が良く収量が安定した早生品種の早期育成と普及を目指すため、DNAマーカー育種技術の確立と電子野帳を開発する。

#### 【成果】

- ・高温耐性品種から高温耐性遺伝子2種を検出
- ・水稻の生育調査用電子野帳プログラムを試作し、デジタルメジャーとタブレットをBluetoothで連動させ、生育調査データを直ちに保存

#### 【関係事業】

- ・水稻品種育成加速化技術開発試験費：1,200千円



デジタルメジャーで測定(左)し、タブレットでデータを確認(右)

### ○キウイフルーツ生産技術の開発

#### 【取組】

- ・異常気象等に起因する生育不良を克服する安定生産技術を開発し、キウイフルーツ生産量日本一の座を堅持することを目指す。

#### 【成果】

- ・湿害に強い台木「バウンティ」を選抜し、水田転換園での現地実証
- ・改植後の生育不良対策として、大苗育苗の技術開発を実施
- ・開花期の多雨対策として、簡易雨よけ栽培を検討
- ・雨よけ施設を利用し、夏期異常高温対策として遮光栽培を検討

#### 【関係事業】

- ・異常気象に負けないキウイフルーツの生産技術開発費：1,000千円



水田転換園での現地実証



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 7 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します

### ○紅プリンセス高品質化栽培試験

#### 【取組】

- ・紅プリンセス（愛媛果試第48号）栽培における、果皮障害や生理障害、肥培管理や貯蔵条件の課題を解明しスムーズな産地化を後押しする。

#### 【成果】

- ・す上がり軽減技術として樹形がポイントであることを確認
- ・ネック果、日焼け、クラッキング、微裂果軽減技術を開発中
- ・適正施肥、灌水量、貯蔵条件について検討中

#### 【関係事業】

- ・紅プリンセス高品質化栽培試験費：2,196千円



す上がりの無い開帳  
気味の樹形

### ○天敵を利用したアザミウマ防除技術の開発

#### 【取組】

- ・県内の施設栽培‘愛媛果試第28号’に発生するミカンキイロアザミウマは、強度の薬剤抵抗性を獲得し、薬剤による防除が困難となっていることから、薬剤以外の手法を組み合わせた防除方法を開発する。

#### 【成果】

- ・天敵のタバコカスミカメ及びスワルスキーカブリダニの防除効果を検討中
- ・殺虫剤に気門封鎖剤を混用することで、ミカンキイロアザミウマの死亡率が78.5%に向上（殺虫剤単用での死亡率は17.6%）

#### 【関係事業】

- ・天敵等を利用したアザミウマ防除技術開発試験費：965千円



ミカンキイロ  
アザミウマ成虫

### ○畜産生産技術等の開発

#### 【取組】

- ・家畜の暑熱対策や飼料価格の高騰対策、効率的・省力的な家畜管理など、畜産農家が抱える課題を解決へ導く技術を開発する

#### 【成果】

- ・飼料用とうもろこしの増産に向け、アミノ酸液肥利用による低コスト栽培や豪雨などの短期冠水被害の軽減効果を調査
- ・銘柄豚生産に係る飼料コストの低減を図るため、アミノ酸比率法を用いた飼料により、飼養期間の短縮を確認
- ・養鶏農家の生産コスト低減による体質強化を図るため、脱脂粉乳の養鶏飼料への利用可能性を確認

#### 【関係事業】

- ・畜産試験研究費：28,737千円
- ・低コスト県産養鶏飼料開発事業費：2,400千円
- ・とうもろこし有機肥料利用技術確立試験費：1,137千円
- ・銘柄豚収益向上技術開発試験費：1,067千円



冠水被害軽減試験  
(左：試験区、右：対象区)

## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、  
足腰の強いえひめ農業を確立します

### 〇産地づくりと地域づくりの推進

#### 【取組】

- ① 対象・活動の重点化及び特色ある普及活動の展開、出口戦略を見据えた生産振興を実施
- ② ミドル層での先進技術の実証や流通販売促進の取り組みを支援
- ③ 流通面から産地の競争力を強化するため、普及指導員が、実需者の消費動向、県産農産物や加工品の流通上の問題点等を調査
- ④ 県下の普及指導機関等を高画質映像で結び、複数の専門家の助言に基づいた高いレベルの農作物診断がリアルタイムに行える生産支援システム開発を実施

#### 【成果】

- ① 策定した
  - ・産地づくりビジョン：54課題
  - ・地域戦略ビジョン：33課題に取り組み、生産振興を推進
- ②
  - ・先進技術（施設、機械等）の導入：5件
  - ・流通販売促進の支援：3件
- ③
  - ・流通・販売調査等：8件
  - ・調査結果を関係者に情報提供
- ④
  - ・リアルタイム診断システムの運用上の課題解決
  - ・通信中の高画質画像撮影に対応したシステムの改良を実施

#### 【関係事業】

- ・普及活動促進費：32,147千円
- ・儲かるモデル産地育成システム確立推進事業費：20,365千円
- ・リアルタイム農業普及指導ネットワーク構築事業費：14,962千円



ひめの凜栽培講習会



紅プリンセス栽培講習会



ミニトンネルハウスでの栽培実証支援



パクチー産地づくりのための  
大阪市場での販売促進



普及指導員による  
首都圏での流通研修



リアルタイム診断システム



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、足腰の強いえひめ農業を確立します

### ○七折小梅の産地再興に向けての支援

#### 【取組】

- ① 着果不良の原因究明と技術実証
- ② 優良系統樹の選抜と優良苗木の育成更新
- ③ 高齢化に対応した省力化技術の実証
- ④ 新規就農者の確保

#### 【成果】

- ①
  - ・不完全花及び花粉の発芽不良要因の一因として、昨年の秋から冬にかけての高温等を確認
  - ・優良系統1種類を選抜
- ②
  - ・母樹園設置による苗木育成、供給体制を構築
  - ・改植面積：100a
- ③ 電動農機（チェーンソー2台、はさみ1台）導入
- ④ 新規研修生を確保：1人

#### 【関係事業】

- ・七折小梅産地再興支援事業費：1,522千円



実証調査の状況を情報共有



母樹園の設置状況

### ○高級菓子用くだもの産地確立に向けた支援

#### 【取組】

- ① 生産体制の整備を支援
  - ・ファクトリーブランド促進協議会の実施支援
  - ・持続的な生産体制の整備
- ② 省力・多収栽培技術（もも、かき、びわ）の確立支援
- ③ 省力・多収栽培のマニュアル作成

#### 【成果】

- ①
  - ・生産供給目標や安定供給対策の協議：全体2回、品目別2回
  - ・新規栽培者：2人及び1法人、生産拡大：1人
- ② 加工用くだもの省力・多収技術
  - ・もも：早採り栽培技術の確立実証
  - ・かき：新梢管理による摘果作業の省力化、ポリ袋個装果の冷蔵貯蔵による軟化症軽減効果を確認
  - ・びわ：袋掛けの省力化、明渠設置による排水対策の有効性を確認
- ③ マニュアル作成に向け栽培管理の写真や動画を撮影

#### 【関係事業】

- ・高級菓子用くだもの産地確立事業費：1,074千円



ファクトリーブランド  
促進協議会



柿の多収剪定指導

### ○省エネルギー化等による生産性向上に向けた取組み支援

#### 【取組】

- ・燃油高騰に対応できる経営体質への転換に必要な省エネ機器等の導入を支援。

#### 【成果】

- ・施設園芸におけるヒートポンプや省エネ暖房機、高性能被覆資材等の導入：6産地（協議会）で18件

#### 【関係事業】

- ・施設園芸省エネルギー化緊急支援事業費：79,620千円（R4年度）



ばらハウスのヒートポンプ

## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ② えひめ農業の生産力を拡大します

具体的な推進事項 8 地域に密着した普及指導活動の推進により、足腰の強いえひめ農業を確立します

### ○省エネルギー化等による生産性向上に向けた取組支援

#### 【取組】

- 燃料の価格高騰の影響を受ける施設園芸農家の負担軽減を図るため、国セーフティネット構築事業に加入している農家に対して、燃料経費の一部を支援
- 農業用資材の価格高騰の影響を受ける農業者の農業経営への影響を緩和するため、被覆資材の価格上昇の一部を支援

#### 【成果】

- 国セーフティネット構築事業加入者：67戸  
(R4年：37戸)
- 農業経営を継続する農家数（支援農家数）：1,168戸

#### 【関係事業】

- 施設園芸燃料高騰対策緊急支援事業費： 4,590千円
- 農業用被覆資材価格高騰対策緊急支援事業費： 11,306千円

令和5年度「施設園芸セーフティネット構築事業」加入事業のご案内

### 省エネ化とセーフティネットで燃料価格高騰に備えましょう

✓ 国と農業者で協力をし、燃料価格高騰時に補助金をお支払いします  
(自身の積立金の2倍を限度に補助)

✓ 補助金に使用されなかった割戻の積立金は、事業終了後に還付されます  
(横付けではありません)

申込期間 (締切期 7月20日必着)	対象期間																									
対象期間開始2か月前までに、申込書を提出して、施設園芸への資料提出が必須です。締切期後は、余裕をもってお申し込みください。	10月から翌6月までの間から選択																									
加入要件	対象農産物																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設園芸農家 3戸以上、又は専従者数 5名以上で構成する農業従事者等</li> <li>※同一市内の3戸以上の農家</li> <li>3年間で燃料使用量を15%以上削減する計画 (省エネルギー等推進計画) の作成</li> <li>目標を立てては、農業をご覧ください。</li> </ul>	施設園芸 (野菜、果樹、花きの栽培) の用に資するA重油、灯油、LPガス、LNG																									
積立金	積立コース																									
積立金 = 積立単価 × 年間燃料購入予定数量 × 1/2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>A重油</th> <th>灯油</th> <th>LPガス</th> <th>LNG</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>115%</td> <td>12.2</td> <td>13.0</td> <td>16.0</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>130%</td> <td>円/L</td> <td>円/L</td> <td>円/kg</td> <td>円/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>150%</td> <td>24.5</td> <td>25.9</td> <td>32.1</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>170%</td> <td>円/L</td> <td>円/L</td> <td>円/kg</td> <td>円/m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	コース	A重油	灯油	LPガス	LNG	115%	12.2	13.0	16.0	8.6	130%	円/L	円/L	円/kg	円/m <sup>3</sup>	150%	24.5	25.9	32.1	17.1	170%	円/L	円/L	円/kg	円/m <sup>3</sup>
コース	A重油	灯油	LPガス	LNG																						
115%	12.2	13.0	16.0	8.6																						
130%	円/L	円/L	円/kg	円/m <sup>3</sup>																						
150%	24.5	25.9	32.1	17.1																						
170%	円/L	円/L	円/kg	円/m <sup>3</sup>																						
(例) A重油を年間10,000L購入予定の方 が130%コースに申し込む場合 24.5 × 10,000 × 1/2 = 122,500円	積立単価 = 積立単価 × 1 × 当月燃料購入数量 × 70% ※2 ※1 積立単価は、積立コースにかかわらず、同様です ※2 価格急騰時には、100%に引き上げられます。																									

### 国セーフティネット構築事業パンフレット



農業用被覆資材 (ハウスビニール・マルチ)

### ○肥料価格高騰への支援

#### 【取組】

- 堆肥散布機や化学肥料低減可能な局所施肥田植機などを導入する生産者を支援
- 国が実施する緊急支援事業に対し、県が推奨する項目に取組む生産者に対し上乗せ支援を実施
- 急傾斜園地や小規模水田において化学肥料低減に向けた土づくりに必要な省力化機械の導入を支援

#### 【成果】

- 土づくり・施肥診断等の機械設備整備支援を実施
- 肥料価格高騰に対する緊急支援を実施
- 化学肥料低減に向けた土づくりに必要な省力化機械整備支援を実施

#### 【関係事業】

- 肥料価格高騰対策支援事業費： 66,583千円
- 化学肥料低減定着対策支援事業費： 11,648千円



導入したマニアスプレッタ



## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ③ えひめ農業の販売力を拡大します

具体的な推進事項 1 魅力あふれる愛媛の農産物のブランド力向上を図ります

### ○ブランド化の推進

#### 1 ブランド認定

【取組】

- ・愛あるブランド製品の新規認定及び認定更新審査を実施

【成果】

- ・新規認定産品：2品目3産品（釜あげしらす×2、真鯛）
- ・認定更新産品：17品目18産品
- ・認定産品合計※：48品目84産品 ※R5年度末時点

【関係事業】

- ・えひめの農林水産物販売拡大サポート事業費：13,030千円

#### 2 知名度向上

【取組】

- ・農林水産物統一キャッチフレーズ「愛媛産には、愛がある。」にみきゃんがデザインされた「みきゃん段ボール」「みきゃんスタンドパック」等を販売

【成果】

- ・小売店等で贈答用柑橘などの販売に利用
- ・県内外小売店での販売に利用
- ・国内外で開催する愛媛フェアで使用



愛媛みかん大使 表敬訪問



市場トップセールス



「えひめの食」体験イベント



東京・有楽町愛媛県産みかん サンプルイベントの実施

### ○ブランド力の向上

#### 1 販売促進

【取組】

ブランド産品等の販売拡大のため、トップセールスや県外での愛媛フェア開催、本県の食の体験イベント開催、民間企業との連携によるPR販売等を実施

- ・市場トップセールス：大都市圏の卸売市場でトップセールス、著名人を活用したPR
- ・愛媛フェアの開催：北海道、東北、首都圏、関西圏のフェア等での農林水産物販売
- ・県産食材のブランド力向上と食を通じた誘客促進を目指し、産地ならではの食の魅力が体感できるイベントの開催とプロモーションを一体的に展開
- ・コロナによる健康意識の高まりを踏まえ、県産かんきつの販売拡大と魅力向上を図るため、デジタルとリアルを効果的に連動させたPRを強化
- ・県内のオフィスで毎日かんきつを食べることを習慣化し、県産かんきつの消費拡大を図る運動「みかんdeチャージ」プロジェクトを展開

【成果】

県外消費者への認知度向上と販売の拡大

- ・県外フェア等の販促活動における売上額：10.3億円  
〔目標：9億円〕
- ・県産柑橘を先んで購入する割合（首都圏消費者）：50.4%  
〔目標：50%〕

【関係事業】

- ・えひめの農林水産物販売拡大サポート事業費：13,030千円
- ・えひめの食ブランディング事業費：16,997千円
- ・県産かんきつPR強化事業費：10,000千円



WEBバナー広告の配信

## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ③ えひめ農業の販売力を拡大します

具体的な推進事項 1 魅力あふれる愛媛の農産物のブランド力向上を図ります

### 〇ブランド力の向上

#### 2 販路拡大

##### 【取組】

- ① 大都市圏の飲食店に対し、旬とこだわりの県産食材をカタログを通じて定期的に提案し、食材サンプルを提供する、本県オリジナルのマッチング支援を実施
- ② 新規飲食店へのアプローチを強化するため、食品卸売業者と連携し、上記食材データ等を活用しながら、卸売業者による販促企画と新規飲食店の開拓に取り組みとともに、大手グルメサイトを活用した大都市圏飲食店での「えひめフェア」を開催
- ③ 県産農林水産物のPR・販売促進を図り、新たな愛媛ファンを獲得するため、首都圏でキッチンカーを運営

##### 【成果】

- ①
  - ・カタログ提案飲食店数※：130店舗  
〔R4年：116店舗〕
  - ・新規成約数※：457件 ※R5年度末時点  
〔R4年：606件〕
- ②
  - ・食品卸売事業者による販路開拓数：815店舗、計1,061件
  - ・えひめフェア（2/1～3/10）メニュー提供数：10,271食
- ③ 販売額：104万円/月平均〔目標：75万円〕

##### 【関係事業】

- ・えひめ食材販路拡大パワーアップ事業費：22,417千円
- ・首都圏まるごと愛媛PRキッチンカー運営事業費：7,408千円



食材カタログ



グルメサイトと連携した飲食店フェア



EHIMEみきゃんぶキッチン

### 〇ブランド畜産物の魅力向上

##### 【取組】

- ① 公式Instagram「えひめ3畜」やデジタル広告等を活用し、ブランド畜産物を使ったレシピ掲載、キャンペーン等による県産畜産物の魅力や情報発信を実施
- ② 県産牛乳の消費拡大のため、県内量販店でのキャンペーンやイベント等でのPR活動、食育教室等を実施

##### 【成果】

- ① 公式Instagramフォロワー数※：4,570人 ※R5年度末時点
- ②
  - ・県産牛乳イベントPR、食育教室：計12回
  - ・県産牛乳製品の販売量：計画比10%増

##### 【関係事業】

- ・県産畜産物販売戦略デジタル化推進事業費：6,288千円
- ・県産牛乳消費拡大応援事業：14,185千円



県産牛乳のイベントPR



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ③ えひめ農業の販売力を拡大します

具体的な推進事項 2 輸出力を強化し、愛媛の魅力を世界に広げます

### ○輸出力強化に向けた取組の推進

#### 【取組】

- ・海外で試食販売が再開されつつある中、デジタルを活用したPRと連動させながら、現地プロモーションを展開
- ・輸出障壁の高い欧州向けに河内晩柑（misho）の本格的な輸出を開始し、世界最大規模の国際卸売市場のCEOに対し、トップセールス等を展開

#### 【成果】

- ・輸出事業者等との関係の維持強化
- ・県が関与する県産かんきつ輸出実績：169.3トン  
〔R4年比：123.7%〕

※ 輸出先：台湾、シンガポール、ベトナム、EUなどの  
11か国・地域

#### 【関係事業】

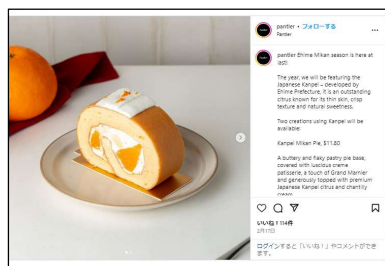
- ・県産農林水産物輸出促進事業費：19,706千円



台湾「裕毛屋」での  
県産かんきつPR



欧州向け河内晩柑（misho）  
の現地プロモーション



シンガポールでの県産かんきつ  
スイーツプロモーション



ベトナム「KLEVER FRUIT」  
でのプロモーション

### ○規制緩和に向けた取組の推進

#### 【取組】

- ・重要要望等の機会を活用し、台湾、インドネシアでの「かんきつの輸出における障壁に係る対策」について、国への働きかけを実施

#### 【成果】

- ・国から相手国・地域への働きかけが継続

#### 【関係事業】

- ・えひめの農林水産物販売拡大サポート事業費：13,030千円

## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ③ えひめ農業の販売力を拡大します

具体的な推進事項 3 6次産業化などの農村発イノベーションを促進します

### ○取組事業者への相談・アドバイスの実施

【取組】

- ・6次産業化（農山漁村発イノベーション）サポートセンターを通じたプランナー派遣により、6次産業化等に取り組む事業者への相談・アドバイスを実施

【成果】

- ・6次産業化（農山漁村発イノベーション）サポートセンター相談件数：212件〔R4：173件、R3：200件〕

【関係事業】

- ・6次産業化活動支援事業費：25,406千円



事業者支援の結果例

### ○新商品開発や販路開拓に向けた補助事業の活用促進

【取組】

- ・新商品開発や商品ブラッシュアップ、販路開拓のための商談会への出展といった取組について補助事業を活用した支援の実施

【成果】

- ・6次産業化チャレンジ総合支援事業活用件数：11件〔R4：8件、R3：10件〕

【関係事業】

- ・6次産業化活動支援事業費：25,406千円



開発された新商品例

### ○6次産業化等に向けた人材育成やスキルアップへの支援

【取組】

- ① 経営感覚を持って、6次産業化等に取り組める人材の育成や商品開発・商談力の向上、商品ブラッシュアップ力の強化を目的とした人材育成研修会等を実施
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大に対応するため、リアルとオンラインを併用した開催形式にて実施

【成果】

- ①
  - ・人材育成研修会等参加者：49人〔R4：57人、R3：124人〕
  - ・オンライン参加者：11人〔R4：16人、R3：104人〕
- ② 実践的な研修として、県内先進事業者先にて実地研修を実施（参加者：6人）

【関係事業】

- ・6次産業化活動支援事業費：25,406千円



人材育成研修会の様子

### ○6次産業化の販売促進に向けた営業スキルの向上

【取組】

- ・6次産業化商品ならではの魅力やストーリーを伝える力の習得に向け、模擬的な商談会や専門家による個別指導を実施

【成果】

- ・県内の6次産業化を代表する5事業者に支援を実施
- ・14バイヤーとの模擬商談、専門家による現地指導を実施

【関係事業】

- ・6次産業化活動支援事業費：25,406千円



オンライン商談会の様子



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ④ えひめ農業の魅力を拡大します

具体的な推進事項 1 共同選果・共同販売体制を強化し、  
産地の維持・拡大を推進します

### ○集出荷貯蔵施設の整備

【取組】

- 強い農業・担い手づくり総合支援交付金（国事業）を活用し、JAえひめ中央中島選果場の柑橘選果機能向上を支援

【成果】（令和3年度）

- 消費者ニーズに対応するため、品質評価機能を向上させ、腐敗果混入防止を可能にした柑橘選果機を整備  
1箇所（JAえひめ中央）

【関係事業】

- 果樹流通施設緊急整備事業：396,325千円（R3年度）



かんきつの選果

## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ④ えひめ農業の魅力を拡大します

具体的な推進事項 2 先端技術を活用したスマート農業等の普及を推進  
します

### ○再編復旧園発スマートアグリ推進

【取組】

- 果樹スマートアグリのモデル園地整備（今治市上浦地区）
- 果樹園適地マップ作成

【成果】

- 気象クラウドシステム、遠隔自動かん水装置、防除用ドローンの導入
- しまなみ地域の営農適地（ $-3^{\circ}\text{C}$ 以上）を示すマップを作成

【関係事業】

- 再編復旧園発スマートアグリ推進事業費：3,566千円



データに基づく栽培管理

### ○5G（第5世代移動通信システム）の活用促進

【取組】

- 将来の5Gインフラ整備を見越し、生産現場と普及指導機関等を高画質映像で結び、指導者が直接現地に赴かなくとも、指導がリアルタイムで行える生産支援サービスの提供を目指したシステムを開発

【成果】

- リアルタイム診断システムの運用上の課題解決と、通信中の高画質画像撮影に対応したシステムの改良を実施

【関係事業】

- リアルタイム農業普及指導ネットワーク構築事業：  
14,962千円



園地で撮影し伝送された  
柑橘の降雹被害の画像

## 基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ④ えひめ農業の魅力を拡大します

具体的な推進事項 2 先端技術を活用したスマート農業等の普及を推進します

### ○ドローン等の普及推進

#### 【取組】

- ① ドローン等の利用拡大研修の開催
- ② ドローン等による防除農薬適用拡大試験の実施

#### 【成果】

- ① 開催状況（開催数・参加人数）：3回・340人  
〔R4：2回・290人、R3：1回・67人〕
- ② 試験剤数：4剤〔R4：1剤、R3：1剤〕

#### 【関係事業】

- ・ドローン防除農薬適用拡大普及事業費：920千円



ドローンのデモフライト

### ○スマート農業技術開発・普及促進

#### 【取組】

- ・主に米麦において、スマート農機を活用した高品質多収栽培に向けた総合実証を行い、実証結果を速やかに横展開し、現場実装を加速化

#### 【成果】

- ・収量、生育量データに基づく施肥化により、ほ場内の収量のばらつきを補正
- ・米麦二毛作体系における可変施肥機と、センシングドローン間のデータ連携手法を検討（麦作→稲作）

#### 【関係事業】

- ・スマート農業技術開発・普及促進事業費：12,582千円



現地実証を行った可変施肥田植機と収量コンバイン

### ○広域連携型農林水産研究開発課題(スマート農業)への対応

#### 【取組】

- ① 急傾斜園地に対応したロボット台車の開発や労働負担等の調査実証
- ② かんきつ栽培における急傾斜地での過酷な労働環境の改善・超省力化に向け、ドローン防除の高精度化を図るための樹形改造やドローン飛行経路の検討

#### 【成果】

- ① ロボット台車実用試験機作成、走行試験開始（試験中）
- ② かんきつ黒点病を対象としたドローン防除を実施した結果、慣行樹形における効果は手散布と同等程度であったが、改造樹形における効果は慣行樹形に比べ、やや良好

#### 【関係事業】

- ① 広域連携型農林水産研究開発事業費  
〔うち急傾斜農業の超省力化に向けた小型農業ロボットシステム開発〕
  - 〔農水研（ロボット台車）：2,392千円〕
  - 〔果樹研（ドローン）：3,190千円〕



試験中のロボット台車



かんきつ園地で防除作業中のドローン



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ④ えひめ農業の魅力を拡大します

具体的な推進事項 2 先端技術を活用したスマート農業等の普及を推進します

### ○大型檻・遠隔監視捕獲装置等を用いた効果的な捕獲を実証

#### 【取組】

- ・イノシシやニホンザルの効果的な捕獲を行うために大型檻や 囲い罠と遠隔監視装置を組み合わせた捕獲の現地実証

#### 【成果】

- ・現地実証：7か所（松山市ほか6市町）
- ・捕獲状況：36頭  
〔R4：33頭、R3：30頭〕

#### 【関係事業】

- ・鳥獣害防止対策推進事業費（普及推進事業分）：995千円  
（鳥獣害防止対策事業費 224,858千円のうち）



一度にイノシシ7頭の捕獲に成功

### ○酪農スマート農業技術の普及推進

#### 【取組】

- ① 公共牧場での繁殖管理の効率化を目的とし、ドローンを活用した発情監視システムの開発
- ② 搾乳ロボットを活用による酪農経営の高収益化と省力化を可能とする「えひめ型酪農システム」の確立に向け、ロボット搾乳に適した乳牛飼養技術の確立や、スマート酪農の実装に必要な技術の開発

#### 【成果】

- ① 今回の撮影条件下において、ドローン画像及びAI画像認識技術により、対象物を高い精度で検出可能であることを確認
- ② 開発した「えひめ型酪農システム」による経済効果：乳牛1頭あたり、年間316千円の所得向上を確認

#### 【関係事業】

- ① 乳用牛生涯乳量向上事業費：7,396千円
- ② えひめ型酪農技術体系確立事業費：3,000千円



発情監視システム  
〔対象物（牛：緑枠、ヒートマウントディテクターの反応：有：赤枠、無：青枠）を検出〕



えひめ型酪農システムにおける飼料技術

## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ⑤ えひめ農業の安全・安心を確保します

具体的な推進事項 1 農薬、化学肥料等を低減した農業や有機農業など環境にやさしい農業の拡大に努めます

### ○エコファーマー、エコえひめ、有機農業の推進

#### 【取組】

- ・エコファーマーの認定、エコえひめ農産物の認証、有機農業の取組支援のため、技術実証ほの設置に加え、県内4カ所での有機農業に関する講座や研修会を開催

#### 【成果】

- ・エコファーマー認定者数：691名〔R4年比：261名増〕
- ・エコえひめ農産物（出荷認証ベース）認証件数：183件〔R4：183件、R3：197件〕
- ・有機農業講座参加者数：39名

#### 【関係事業】

- ・みどりの食料システム戦略推進事業費：20,309千円



エコえひめ農産物PR販売



県外でのエコえひめ農産物販売促進活動



農家による天敵（ダニ）の放飼



高知のなす農家と意見交換

### ○環境にやさしい天敵利用によるなす産地の強化

#### 【取組】

- ① 関係機関による天敵利用技術検討会を開催（6月、3月）
  - ・施設・露地栽培の実証ほを設置：各2カ所
  - ・先進県である高知県等に生産者及びJA等と視察を実施
- ② 新規栽培者等を確保するため、関係機関と連携し、各種講習会を開催：5回、参加者116人
- ③ 伝統野菜である「松山長なす」をPRするため、大阪・京都の「えひめ食の大使館」認定店に、なすを提供：6店舗

#### 【成果】

- ① 実証結果：防除回数の低減 施設：14回（削減率：53%）  
露地：18回（削減率：22%）
  - ・視察等を通じて「天敵利用マニュアル」及び「天敵温存ハウス管理マニュアル」を作成し、生産者に配布、技術を普及
- ② 新規栽培者7人を確保
  - ・天敵導入者：計24人（施設：15人、露地：9人）に拡大〔R4年：18人（同：12人、同：6人）〕
- ③ 「とても調理しやすく、柔らかいのに煮崩れしない」と高評価
  - ・松山長なすを使った料理をSNSで発信し、認知度が向上

【関係事業】 ・なす産地強化対策事業費：1,589千円

### ○家畜排せつ物の有効利用促進

#### 【取組】

- ① 家畜排せつ物の有効利用を図るため、良質たい肥の生産技術指導を実施
- ② 国補助事業や県単補助事業（畜産新技術等導入支援事業）による、家畜排せつ物処理に係る機械導入や既存施設の補改修を推進

#### 【成果】

- ① 技術指導打合せ会の開催：1回〔R4：1回、R3：1回〕
- ② 機械等の導入（たい肥調整関係機械装置等）：4件〔R4：1件、R3：5件〕
  - ・既存施設の補改修（たい肥舎の補改修等）：3件〔R4：3件、R3：6件〕

#### 【関係事業】

- ・畜産経営技術指導事業費：4,060千円
- ・畜産新技術等導入支援事業費：20,511千円



新規栽培者勉強会



堆肥搬送計量装置の導入



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ⑤ えひめ農業の安全・安心を確保します

具体的な推進事項 2 えひめ農畜産物をグローバルスタンダードに高めます

### OGAP指導活動の推進

#### 1 現地指導の実施

【取組】

- ・グローバルGAP等の各種認証の取得、更新を指導
- ・国際水準GAPの実施に係る現地指導の実施
- ・国際水準GAPに関する研修会等を開催

【成果】

- ・23件の農業者等に対して、計44回の指導活動を実施
- ・国際水準GAPに関する研修会、勉強会等を開催：6回

【関係事業】

- ・みどりの食料システム戦略推進事業費：20,310千円

#### 2 GAP指導員の育成

【取組】

- ・GAP指導員の育成に資する研修に普及指導員を派遣
- ・グローバルGAP内部検査（模擬審査）の実施による指導力強化

【成果】

- ・国際水準GAPガイドライン研修に派遣：7人
- ・新たにGAP指導員を育成：6人
- ・各地方局、支局でグローバルGAP内部検査を実施：8件

【関係事業】

- ・みどりの食料システム戦略推進事業費：20,310千円



GAP指導活動



GAPに関する勉強会



グローバルGAP内部検査



教育機関における  
グローバルGAP公開審査

### OGAP教育の推進

【取組】

- ・教育機関の各種GAP認証の維持・更新を支援し、GAPの取組を通じて、生徒が自ら考えて実践する能力の向上を図り、次世代の愛媛の農業を担う人材を育成

【成果】

- ・グローバルGAP認証を更新：6校  
    〔南宇和高校（河内晩柑橘）、川之石高校（甘平、温州みかん）など〕
- ・県GAP認証を継続取得：6校  
    〔伊予農業高校（米）、今治南高校（ブドウ、ミニトマト）など〕

【関係事業】

- ・みどりの食料システム戦略推進事業費：20,310千円

## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ⑤ えひめ農業の安全・安心を確保します

具体的な推進事項 3 食の安全・安心に関する取組みを充実します

### ○農薬適正使用の啓発・残留農薬分析の実施

#### 【取組】

- ・ 農薬による危害の防止啓発、県産農産物の安全性確保のため、農薬適正使用講習会の開催、農薬管理指導士の認定、農薬残留分析を実施

#### 【成果】

- ・ 農薬適正使用講習会：218名参加
- ・ 農薬管理指導士※：192名  
(新規4名認定、39名更新) ※R6年3月末時点
- ・ 農産物の農薬残留分析：323件を分析、農薬適正使用を確認

#### 【関係事業】

- ・ 農薬適正使用推進事業：5,186千円



農薬適正使用講習会

### ○食品表示の適正化及び食品トレーサビリティの推進

#### 【取組】

- ・ 「食品表示相談窓口」を設置
- ・ 食品関連事業者向けに講習会を開催
- ・ 消費者の目線で食品の表示を点検する「食品表示ウォッチャー」によるモニタリング活動の実施
- ・ 疑義情報等に基づく食品表示の監視・指導

#### 【成果】

- ・ 食品表示相談対応件数：362件  
〔R4：280件、R3：301件〕
- ・ 適正な食品表示推進講習会参加者：事業者等：88名
- ・ 食品表示ウォッチャー報告に基づく調査件数：230件  
〔R4：338件、R3：258件〕
- ・ 不適正表示に係る指示・公表：0件、文書指導：0件

#### 【関係事業】

- ・ 食品表示適正化推進事業：2,738千円



適正な食品表示推進講習会

### ○安全・安心な畜産物生産への取組推進

#### 【取組】

- ・ 動物用医薬品や飼料等の安全な流通や適正な使用を確保するため、販売業者や農家等への立入検査等を実施

#### 【成果】

- ・ 立入検査件数  
動物用医薬品：134件  
〔R4：146件、R3：76件〕  
飼料：362件  
〔R4：397件、R3：397件〕

#### 【関係事業】

- ・ 乳牛等総合改良対策事業費：2,508千円
- ・ 家畜衛生対策事業費：3,505千円



飼料販売業者立入検査



## 基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ⑤ えひめ農業の安全・安心を確保します

具体的な推進事項 4 動植物防疫措置の強化に取り組みます

### ○家畜防疫体制の強化

#### 【取組】

- ① 家畜伝染病を引き起こす病原体の県内への侵入を防ぐため、松山空港国内線での靴底消毒による水際対策を実施
- ② 昨年度の高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫措置に関する課題等を踏まえ、家畜防疫危機管理体制の強化を図るため、備蓄資材の拡充とともに、防疫会議や防疫研修会等を開催
- ③ 豚熱の発生予防を図るため、飼養される豚・イノシシに対し、予防的ワクチン接種を実施
- ④ 南予地区の家畜防疫力強化に向けて、西予市に新庁舎を建設中

#### 【成果】

- ① 靴底消毒実施期間：R5年4月1日～R6年3月31日
- ② 防疫研修会等の開催：県庁、各地方局で1回以上開催
- ③ 豚熱ワクチン接種農家：91戸〔R4年：94戸〕
- ④ 開所予定：R7年4月

#### 【関係事業】

- ・豚熱等防疫強化緊急対策事業費：57,083千円
- ・家畜伝染病予防事業費：45,634千円
- ・南予家畜保健衛生所整備事業費：229,278千円



靴底消毒マット  
(松山空港)



防疫研修会風景

## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ① 食と農の大切さを伝えます

具体的な推進事項 1 地産地消や食育を進め、消費者と食・農とのつながりを深めます

### ○学校給食への県産食材利用促進

#### 【取組】

- ① 文部科学省が定める「学校給食週間」（1/24～30）に合わせ、農産物PR用ツール（R5年度は、主な県産農林水産物や農林水産物統計を紹介するクリアファイル）を作成
- ② 学校給食での県産品利用推進を図るため、県教育委員会や市町と連携して、生産者の出荷情報をデータベース化し、県産食材のマッチングを推進
- ③ 学校給食における県産食材の活用と食育の推進のため、県内の農業関係者や学校給食関係者等を対象とした研修会を開催

#### 【成果】

- ① 農産物PR用ツール配布により、県産農林水産物の認知度向上：  
クリアファイル 22,000部（対象：小学1、5年生）  
〔R4：クリアファイル 11,000部（同：小学1年生）  
R3：お風呂マット 11,000部（同： 〃 ）〕
- ② 〔
  - ・学校給食での地元食材の利用拡大
  - ・食材リストデータベースの活用による他の市町での食材利用  
活用件数：63件  
〔R4：74件、R3：64件〕〕
- ③ 研修会参加者：43人  
〔R4：106人、R3：53人〕

### ○食育の推進

#### 【取組】

- ・幼少期の子どもたちに農業や県産農林水産物に興味を持ってもらえるよう、県産農林水産物の学習、生産者や産地との交流、県産農林水産物を使った料理体験等を実施

#### 【成果】

- ・食に対する感謝の気持ちや農業の大切さについて理解促進  
〔
  - ・はだか麦収穫体験、収穫したはだか麦を使用したみそづくり体験 参加者：約40名
  - ・さといもの植え付け体験 参加者：約40名〕

### ○生産者と飲食店とのマッチング支援

#### 【取組】

- ・生産者が商談スキルを学ぶセミナーを実施するとともに、生産者がブースを設置し、飲食店担当者が各ブースを巡回する展示会方式による「地産地消マッチング商談会」を実施。

#### 【成果】

- ・生産者商談カスキルアップセミナー 参加者：32名
- ・地産地消マッチング商談会 商談件数：延べ134件  
〔R4：82件〕  
取引件数（予定含む）：延べ24件  
〔R4：21件〕

#### 【関係事業】

- ・地産地消促進事業費：13,930千円



農産物PR用ツール



はだか麦収穫体験



みそづくり体験



スキルアップセミナー



マッチングメニュー  
（きじ肉）



## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ① 食と農の大切さを伝えます

具体的な推進事項 2 地域の魅力を活かした多様な交流を促進します

### ○グリーン・ツーリズムの推進

#### 【取組】

- ① グリーン・ツーリズム体験メニュー登録制度により、県内の農林漁業体験メニューを掘り起こし登録
- ② 「えひめGTナビ」ホームページの活用やパンフレットの発行等により情報発信力を強化

#### (参考)

- ・えひめGTナビ：  
<https://ehime-gtnavi.jp>
- ・オーナー制度：  
<http://www.pref.ehime.jp/h35100/chokomaru/index.html>

#### 【成果】

- ①②により、
  - ・体験メニュー登録数：288メニュー
  - ・体験者数：123千人
  - ・売上概算：19,385万円

#### 【関係事業】

- ・農業遺産地域躍動推進事業費：13,530千円



ホームページ  
「えひめグリーン・  
ツーリズムナビ」

### ○えひめの農林水産物「ちょこっと体験！まるごと収穫！」 オーナー制度の推進

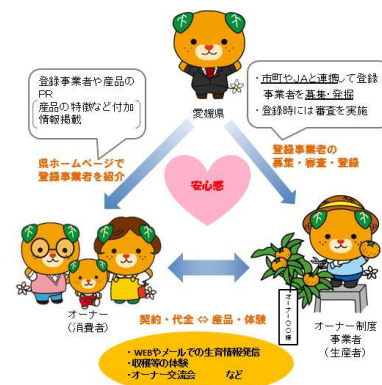
#### 【取組】

- ① オーナー制度登録事業者を市町や関係団体等から広く募集
- ② 県HPで登録生産者の取組内容や申込み先などの情報をはじめ、県担当者による生産物の特徴やおすすめポイントなどを併せて掲載し、県内外へ積極的にPR

#### 【成果】

- ①②により、
    - ・新規に登録された事業者：1件
    - ・契約オーナー数：延べ286組※
    - ・体験者数：延べ757人※
- ※本制度以外の自社オーナー制度による実績も含む

#### 【ゼロ予算事業】



えひめの農林水産物  
「ちょこっと体験！  
まるごと収穫！」  
オーナー制度

## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ① 食と農の大切さを伝えます

具体的な推進事項 3 匠の技・郷土料理・文化を次世代に伝承します

### ○郷土料理の継承

#### 【取組】

- ・地域の食文化の保存や伝承等を目的に、えひめ食文化普及講座を開催

#### 【成果】

- ・小学校、中学校、高等学校等にて47回、延べ1,362人に伝承

#### 【関係事業】

- ・えひめ食農教育推進事業費：1,093千円



食文化普及講座

### ○久万高原における地域伝統食材の伝承を図る

#### 【取組】

- ① 雑穀の生産振興を支援するため、現地実証ほを設置（2か所）するとともに、ブランドづくり推進会議（3回）で検討
- ② 雑穀を用いた、新たな商品開発及び販売を支援
- ③ 小学校児童等を対象とした、雑穀を用いた郷土料理講座を開催

#### 【成果】

- ① ・雑穀栽培面積：230a〔R4年比：104%〕  
・出荷者：17人〔R4年比：121%〕
- ② ・上浮穴高校や福祉施設と連携し、新商品を開発（4品）  
・町内福祉施設が、地とうきび粉を用いたクッキー、マドレーヌ及びショートブレッドを一般販売  
・道の駅みかわのレストランで、たかきびを代替肉として用いた「クーマカレー」をメニュー化
- ③ 小学校児童等に郷土料理を伝承（3品）

#### 【関係事業】

- ・久万高原地域食材伝承事業費：1,271千円



飲食店での調理指導



クーマカレーの試食

## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ① 食と農の大切さを伝えます

具体的な推進事項 4 貴重な遺伝資源の収集・保存・供給・活用に努めます

### ○優良種苗の収集と保存、供給

#### 【取組】

- ・「庄ダイコン」など地域伝承野菜の優良品種育成を行うとともに、農林水産研究所で育成した品種の原種生産を進め、許諾業者に配布

#### 【成果】

- ・「愛媛緋」、「庄ダイコン」の原種を生産
- ・いちご「紅い雫」「あまおとめ」、水稻「ひめの凜」の優良種苗（原種苗）を生産し、許諾業者に配布
- ・さといも「愛媛農試V2号」、やまのいも「やまじ王」、そらまめ「愛のそら」の原種生産を行い、許諾業者に配布
- ・じねんじょの優良系統を保存 など

#### 【関係事業】

##### 【関係事業】

- ・農業試験研究費：32,623千円  
（うち水稻野菜花き類の優良品種・種苗育成試験費：3,501千円）



愛媛農試V2号



## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ② 地域住民の連携を促進します

具体的な推進事項 1 住民交流や魅力発信など地域の活性化につながる地域住民主体の取組みを促進します

### ○地域の主体的な活動促進

#### 【取組】

- ① 地域住民活動の活性化を図るため、地域の課題を洗い出し、課題解決に向け地域住民の意向を反映しながら、地域が目指す将来像の実現に向けた道筋等をまとめた「ふるさと保全計画」を策定
- ② 農業・農村への県民の理解促進を図るため、
  - ・ 棚田カードの作成・配布
  - ・ 県下の棚田情報を集約したホームページの作成を実施

#### 【成果】

- ① ふるさと保全計画：7地区〔R4：5地区、R3：5地区〕
- ②
  - ・ 棚田カード作成：7地区〔R4：4地区、R3：7地区〕
  - ・ PR動画作成：2地区

#### 【関係事業】

- ・ ふるさと・水と土ふれあい事業費：30,435千円



地域住民との意見交換



棚田カード (↑)  
サイトロゴ (→)



## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ② 地域住民の連携を促進します

具体的な推進事項 2 地域資源の適切な保安全管理を行う地域の共同活動を促進します

### ○日本型直接支払制度を活用した地域の共同活動への支援

#### 1 地域資源の適切な保安全管理

#### 【取組】

- ・ 農業・農村の多面的機能を支える地域資源（農地、水路、農道等）の維持保全や質的向上など、地域共同で行う活動について、多面的機能支払交付金により支援

#### 【成果】

- ・ 多面的機能支払交付金（農地維持支払）交付面積：14,800ha〔R4：14,789ha、R3：15,236ha〕

#### 【関係事業】

- ・ 農村環境保全向上活動支援事業費：700,410千円（環境保全型農業直接支払を含む）



農道の簡易舗装

#### 2 中山間地域等における農業生産活動の継続

#### 【取組】

- ・ 中山間地域等における荒廃農地の発生防止や多面的機能の確保を図るため、集落等を単位に農用地を維持・管理する協定を締結して農業生産活動等を行う場合に、中山間地域等直接支払交付金により支援

#### 【成果】

- ・ 中山間地域等直接支払交付金 交付面積：10,664ha〔R4：10,628ha、R3：10,627ha〕

#### 【関係事業】

- ・ 中山間地域等直接支払交付金事業費：1,141,774千円



鳥獣害防止柵の設置

## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ③ 農地の有効利用を進めます

具体的な推進事項 1 地域の実情に合った荒廃農地対策を実施します

### ○遊休農地や荒廃農地の発生防止・再利用の促進

#### 【取組】

- ・地域や集落での将来の農地利用等に係る話し合いや、担い手への優良農地の集積を進める取り組みを通じて、荒廃農地の発生防止や解消を支援

#### 【成果】

- ・担い手への農地集積率：37.4%  
〔R4：35.9%、R3：34.2%〕
- ・地域計画の策定に向けた協議が行われた地域の割合：  
86/368地域（進捗率：23%）

#### 【関係事業】

- ・農地中間管理事業等推進費：47,792千円
- ・農地集積推進事業費：417千円



荒廃農地解消の様子  
（松山市立岩地区）

### ○中山間地域における農業生産活動の継続支援

#### 【取組】

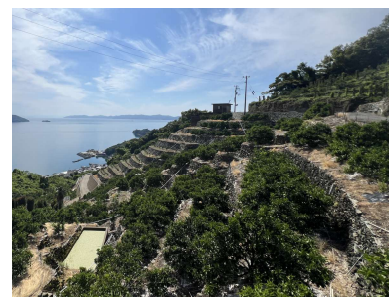
- ① 中山間地域等における荒廃農地の発生防止や、多面的機能の確保を図るため、集落等を単位に農用地を維持・管理する協定を締結して農業生産活動等を行う場合に、中山間地域等直接支払交付金により支援
- ② 条件の厳しい超急傾斜の樹園地等においては、加算措置の効果的な活用を推進

#### 【成果】

- ①②により、
  - ・中山間地域等直接支払交付金 交付面積：10,664ha  
〔R4：10,628ha、R3：10,627ha〕
  - ※うち超急傾斜農地保全管理加算 交付面積：2,725ha  
〔R4：2,738ha、R3：2,750ha〕

#### 【関係事業】

- ・中山間地域等直接支払交付金事業費：1,141,774千円



急傾斜の柑橘園地

## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ③ 農地の有効利用を進めます

具体的な推進事項 2 農地を省力的に管理する農業を促進します

### ○省力化による持続可能な水田農業の推進

#### 【取組】

- ・大規模で安定した農業経営と水田農業の持続的発展を実現するため、水田農業の省力化に必要な農業機械・施設の導入を支援

#### 【成果】

- ・農業機械・施設の整備支援：3件

#### 【関係事業】

- ・水田農業競争力強化支援事業：7,090千円



事業で導入した機器

### ○野菜の機械化一貫体系の推進

#### 【取組】

- ・野菜の規模拡大等に必要の機械等の導入を支援

#### 【成果】

- ・さといもの省力化機械等の導入：4産地、5件  
（四国中央市、東温市、西予市、松前町）

#### 【関係事業】

- ・野菜・花き等産地供給力強化支援事業費：14,425千円



さといも植付機



## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ④ 快適で安全・安心な農村の暮らしを実現します

具体的な推進事項 1 農村の防災・減災対策を推進します

### ○ため池の改修や耐震化等のハード対策推進

#### 【取組】

- ・大規模自然災害等による農地・農業用施設等の被害防止と、地域住民の安全・安心確保のため、
  - ① 海岸保全施設、地すべり等防止施設の整備・保全対策
  - ② ため池の改修・耐震対策
  - ③ 取水堰等河川工作物の補強、湛水被害防止施設の整備を実施

#### 【成果】

- ①
  - ・農山漁村地域整備交付金（海岸保全施設整備）：3地区  
〔R4：2地区、R3：5地区〕
  - ・海岸メンテナンス事業（海岸保全施設整備）：5地区  
〔R4：5地区〕
  - ・農村地域防災減災事業（地すべり対策）：14地区  
〔R4：17地区、R3：16地区〕
- ②
  - ・農村地域防災減災事業（ため池整備）：50地区  
〔R4：44地区、R3：36地区〕
  - ・農村地域防災減災事業（ため池地震対策）：25地区  
〔R4：22地区、R3：19地区〕
- ③ 農村地域防災減災事業（水利防災施設）：4地区  
〔R4：5地区、R3：5地区〕

#### 【関係事業】

- ・海岸保全施設整備事業費：542,816千円
- ・地すべり対策事業費：268,640千円
- ・ため池豪雨等防災対策事業費：1,429,610千円
- ・ため池地震防災対策事業費：640,573千円
- ・農業水利施設防災対策事業費：139,135千円



海岸浸食防止



地すべり対策（法柱）



ため池の改修

### ○ため池の管理・監視体制の強化等のソフト対策推進

#### 【取組】

- ・被災時に人的被害を及ぼす恐れのあるため池について、ため池管理者への相談対応やため池の点検・老朽度調査等管理・監視体制の強化を実施

#### 【成果】

- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業（監視・管理体制の強化）：1地区（県下全域）  
〔R4：1地区、R3：1地区〕
- ・農村地域防災減災事業（劣化状況評価）：1地区（県下全域）  
〔R4：1地区、R3：1地区〕

#### 【関係事業】

- ・ため池管理保全推進事業費：34,000千円



ため池の点検調査

## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ④ 快適で安全・安心な農村の暮らしを実現します

具体的な推進事項 2 中山間地域の定住環境の向上に向けた条件整備を推進します

### ○中山間地域の定住環境整備

#### 【取組】

- ・ 集落機能の維持・強化や生活環境の向上につながる生活環境基盤の整備を実施

#### 【成果】

- ・ 中山間地域総合整備事業：4地区〔R4：4地区、R3：4地区〕
- ・ 農業集落排水事業：1地区〔R4：1地区、R3：2地区〕

#### 【関係事業】

- ・ 農村総合整備事業費：334,345千円
- ・ 農業集落排水事業費：37,246千円



農業集落排水施設

## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ④ 快適で安全・安心な農村の暮らしを実現します

具体的な推進事項 3 地域の農業を守るため鳥獣被害対策を強化します

### ○攻め・守り・地域体制づくりによる被害対策推進

#### 【取組】

- ・ 市町が実施する有害鳥獣の捕獲奨励金交付や防護柵の整備等に対する補助、地域の鳥獣害対策を牽引する人材の育成等

#### 【成果】

- ・ 農作物被害額：(R4※) 367,914千円〔R3：380,399千円〕
- ・ 主な有害獣許可捕獲数
  - 〔イノシシ：(R4※) 29,895頭〔R3：21,740頭〕
  - 〔ニホンジカ：(R4※) 8,522頭〔R3：9,239頭〕

※ R5実績はR6年秋頃に公表予定

- ・ 防護柵整備面積：86ha〔R4：140ha、R3：144ha〕
- ・ えひめ地域鳥獣管理専門員の認定：8人〔R4：7人、R3：7人〕

#### 【関係事業】

- ・ 有害鳥獣総合捕獲事業費：110,345千円
- ・ 鳥獣害防止対策事業費：224,858千円
- ・ 鳥獣害防止地域体制強化支援事業費：18,640千円



専門員の認定を目指し  
段々畑の柵の設置方法を  
学ぶ受講生

## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ④ 快適で安全・安心な農村の暮らしを実現します

具体的な推進事項 4 地域の資源を活かした再生可能エネルギーの活用を促進します

### ○再生可能エネルギーの取組促進

#### 【取組】

- 農山漁村において、農林漁業と調和をとりながら再生可能エネルギーを導入していくため、
- ① 発電設備を整備する際に必要となる、農地や森林などの資源の利用に係る許可等の適正な手続き
  - ② 市町や地域に対し、新技術や優良事例に係る情報提供
  - ③ 「農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律」に基づく市町からの協議に対し、ワンストップ窓口を整備
- などを実施

#### 【成果】

- ・ ①～③により、令和5年度までに上記法律に基づき、愛南町・宇和島市・内子町・久万高原町において風力・太陽光・木質バイオマス・水力発電設備を整備（整備途中を含む）



## 基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ⑤ 関係機関・団体の連携を促進します

具体的な推進事項 1 食料・農業・農村に関する団体との連携を強化します

### ○えひめ愛フード推進機構の取組推進

【取組】

- ・生産者、市町、JA、報道機関等と連携し、農林水産物のブランド化や販路開拓を推進

【成果】

- ・えひめ愛フード推進機構会員数・賛助会員：59団体

【関係事業】

- ・えひめの農林水産物販売拡大サポート事業費：13,030千円

### ○広域連携型農林水産研究課題への対応

【取組】

- ・農林水産業における技術的課題解決のため、県内に拘ることなく広域的な産学官等の連携による試験研究を実施

【成果】

- ・広域連携型農林水産研究課題数：20課題  
(内訳：農業4、果樹6、林業2、水産8)

【関係事業】

- ・広域連携型農林水産研究開発事業費：33,246千円  
(内訳：農業5,046千円、果樹13,421千円、  
林業579千円、水産14,200千円)



就農前研修（東予）



うめの選定講習会（中予）

### ○連携強化による取組

【取組】

- ・地域農業の発展のため、各地区段階に農業改良普及事業推進協議会を設置し、関係機関が連携して地域の課題を解決

【成果】

- ・JA、市町、県の連携強化（各地区3～5回/年）

【関係事業】

- ・普及活動促進費：32,147千円  
(うち農業改良普及事業推進協議会分：600千円)



WCS用稲の刈り取り（南予）